

〈名画の扉〉

大川美術館企画展から

「ごみ捨て場付近」

1942年4月、鉛筆、コンテ、木炭、紙
37・9cm×45・5cm
(個人蔵)



松本竣介 (1912~48年)

今回紹介したのは、**か**れる塔。変電所の窓松本竣介の代表作「立の小さな四角は、あえて塗る残しを強調する神奈川県立近代美術館蔵」の背景につかわれた素描です。元となつた風景は、高田馬場にあつた清掃事務所と目白変電所付近とされま

す。数枚の素描と一枚の油彩画がみとめられますが、なかでも、画面に「M.SHUN 174」というサインと年記のある本作は、現場のスケッチを十分に整理して描いた一点といえましよう。

背を向けて歩いて行く黒く塗りつぶされた人物。荷車が引かれていくさま。葉を落とした木。空に向かって貴

た木。空に向かって貴

(小此木)